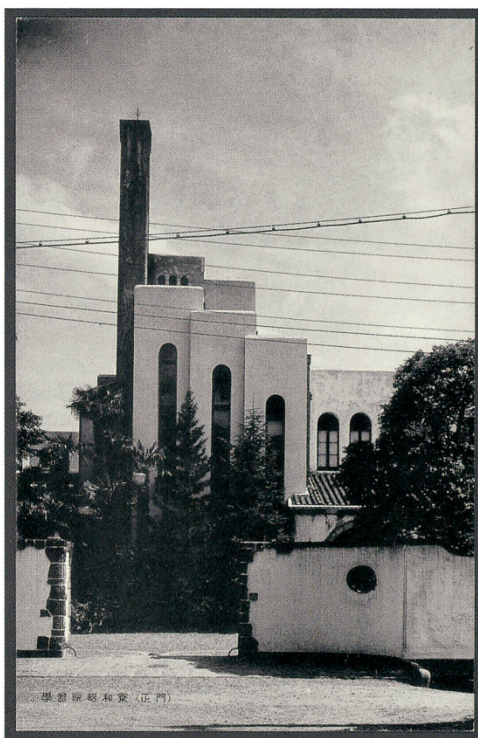


学習院の 名情景

第3回 日立目白クラブ(旧昭和寮)

キャンパスに遺る数々の馴染み深い場所をご紹介します。このシリーズ。第3回は、長きにわたる学習院の歴史の中で、初めて学校敷地外に建てられた「旧昭和寮」です。学習院高等科の学生寮として使用されていました。

JR山手線目白駅から徒歩8分、閑静な住宅街の一角に現れる白亜の洋館は、旧制学習院高等科生の寮だった「旧昭和寮」で、現在は日立製作所所有の「日立目白クラブ」の名で社員の保養施設として利用されています。旧制学習院第7代院長近衛篤磨このえ あつまる(1863《文久3》～1904《明治37》年)の一族が所有していた土地に寮が竣工されたのは1928《昭和3》年。当時、日本の建築的潮流を表現したスパニッシュ様式の鉄筋コンクリート造で、白い壁や褐色の瓦屋根、縦長のアーチ窓や小屋根を乗せた煙突、壁面や屋上パラペット部に施された十字型の装飾が目目を惹く瀟洒な趣きです。およそ2,730坪の敷地面積に地下1階、地上2階建ての本館、4棟の寄宿舍、そして官舎や門衛所の合計7棟を建設。本館1階には食堂、娯楽室、談話室、2階に会議室、応接室、舎監室、地下階には浴室や調理室が設けられ、また寮生に与えられた個室には、引幕式書棚や曇帳付寝台などの調度品が備え付けられ、設備が整っています。1907《明治40》年、第10代院長乃木希典のぎまねすけ(1849《嘉永2》～1912《大正1》年)就任以来、質実剛健の教育方針を徹底していた学習院でしたが、もともと軍人や外交官を輩出するという教育理念を掲げており、



絵葉書になったこともある。

イギリスのイートン・カレッジのような自立した生活を送ることと社交や礼儀を学ぶことを重視しました。「旧昭和寮」には、まさにこのような理想が色濃く反映されているのです。

本館の内部壁面の漆喰装飾や階段手すりにはめられた金属板の模様、照明などアールデコのデザインが随所に施されており、「旧昭和寮」と前後して目白構内に建てられた旧理科特別教場(学習院大学南1号館)、旧中等科教場(同西1号館)同様、設

計は宮内省たくみりょう内匠寮が手がけています。往時を偲ばせる優雅で格調高い空間は今も様相を留め、かつての学習院高等科生が謳歌した青春時代を感じさせます。



天井や柱には美しい漆喰彫刻が施されています。

当時の状態の良いまま残されている希少な建物です。
転載：『学習院 目白の学び舎』(編/学習院大学史料館)

取材協力：学習院大学史料館 学芸員 富田ゆり



自分を成長させてくれた学習院に 何らかのカタチで恩返ししたい。 その想いでサポーターズ倶楽部へ。

サポーターズ会員No.0819

瀧本 裕子 (学習院大学大学院経営学研究科博士前期課程修了 2015年)

余裕のあるうちに母校への貢献を考える

学習院サポーターズ倶楽部には、大学院の卒業を間近に控えた頃に入会しました。父が昔からユニセフや母校などに寄付をしていたので、当倶楽部への入会も自然な流れでした。女子中等科から大学院まで、長きにわたってお世話になった学習院に何らかのカタチで恩返ししたいという想いが大きかったと思います。また、サポーターズ倶楽部の継続型寄付は、一度申し込むと5年間、毎年一定額を寄付できる制度です。社会人になると環境が変わり、物理的にも精神的にも余裕がなくなりそうだったので、ゆとりのある学生のうちに母校に貢献する準備を整えたいという気持ちもありました。

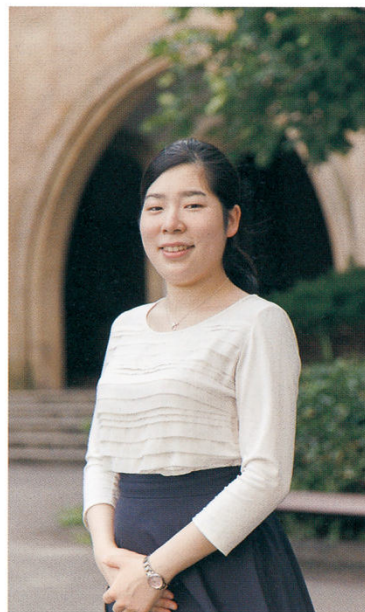
在学中に友人同士で寄付について話題にすることはありませんでしたが、もっと寄付そのものが“かっこいい”とか、若者受けする文化になるといいのかもしれない。また、一括りに寄付と言っても金銭的な支援だけでなくOBとして課外活動を支えるなど、教育というカタチでの寄付もあると思います。無理なく、できる範囲で母校に貢献できる卒業生が増えれば嬉しいですね。

会計学を通して成長することができた

女子中・高等科時代は、どちらかというと消極的に過ごしてしまったので、大学では目

標を持って日々を過ごしたいと思っていました。そんな時に興味を持ったのが会計学です。恩師に出会い、会計学の奥深さに触れ、公認会計士試験のためにダブルスクールも実践。学習院大学経済学部を3年次で早期卒業し、大学院経営学研究科に在籍した2年間を含め、存分に会計学を探究できたと思っています。同時に、消極的な自分から主体的に行動する自分へと変化した実感も湧きました。

念願叶い、現在は大手監査法人で公認会計士として勤務しています。恵まれた環境に感謝しつつ、一方では周囲の優秀な人たちに揉まれてもどかしい思いをすることも。そんな時は学習院で成長できた日々を思い出し、自分の原点を振り返るようにしています。



学習院大学西1号館正面玄関前で。クラシックな造りは英国の名門イートン校をモデルに建てられたもの。

Profile 瀧本 裕子 (たきもと ひろこ)

東京都出身。女子中等科より学習院に学び、学習院大学経済学部を3年次で早期卒業後、大学院経営学研究科博士前期課程修了。2013年、在学中に公認会計士試験に合格。現在、大手監査法人で公認会計士として勤務。